

受入先	南九州市商工会
役職	
隊員氏名	二宮 愛
着任日	令和 7 年 5 月 1 日

活動月	令和 7 年 5 月（着任 1 カ月目）
主な活動	地域の人との交流、情報収集、想いの共有

1. 商店街の方への挨拶・地域総会の参加・情報収集

まずは川辺の商店街の空き家調査と活用方法について考えていくため、地域の方々との交流をして情報収集をしています。

商店街のお店に行き、挨拶をし、雑談をする中で、次世代の方々が密かに新しいことを始めている様子が伺えました。このお店とこのお店を相互送客したり、こんな事をしたらこの商品が売ることができる等のアイデア集めができました。

色々な方が、声を掛けてくださったり、紹介してくださったり、連れて行ってくださったり「お茶だけでも飲みにおいで」などと、とても温かい声をかけていただき嬉しかったです。鹿児島県の「茶いっぺ文化」はとてもほっこりとして、鹿児島特有の良い文化だと思いますので「茶いっぺ歩き」（色々なお家にお茶だけ飲みに行き、お話する。相互に会話・繋がりのお話ができ、誰でもやろうと思ったら気軽に始められるため、やりたい・繋がりたい人のやるハードルを下げられそうです）などもおもしろいかなと思いました。

川辺商店街は、上町・本町・諏訪下・稲荷町と4つにわかれて総会が実施されているためそちらに参加し交流を図りました。ここでも雑談や翌日挨拶に行くことで、困り事などのお話を聞くことができました。子ども会が無くなっていることや、色々な体験をさせたいとお話を聞きました。子どもが来ると大人が来るようになり、地理的にも小・中・高が近くにある場所なので、巻き込んでいけたらいいなと感じます。ライオンズクラブの式典にも、出演している子どもの親御さんが見に来られていました。

2. 地域イベントへの参加

茶と〇イベントで甲冑行列が今年初めての開催をしていたようで、参加をしてきました。こちらで参加されていた方と、後日、別の場所でもお会いすることがあり、繋がりを少しずつ増やしています。また、出店されていた方にもお繋ぎいただき、お話をすることができました。

卒隊の方の講演を聞きに行き、理想の活動だったので、再度お話を伺う機会をいただい

ります。ゆるやかなる、居心地の良い場所づくりができればと思います。



3. 暮らしの知恵を学ぶ

「知識継承の場と、誰もが活躍できる場」を創っていきたいと考えているため、鹿児島島の郷土料理である『あくまき作り』『梅仕事』『ヨモギ団子・らっきょう漬け』を体験させていただきました。自身でも、命の仕組みと植物療法・野草薬草などを少しずつ学んでいます。

こちらでは資源が豊かなため、購入すると高い梅などがわんさか成っており、地域の人でわけあって、毎年梅干しや、梅シロップ、梅酒等をつくられていました。

あくまきは、20名ほどの40～80代くらいの方が集まり、楽しそうに作って学んでいらっしゃいました。色々な所に参加してわかったのですが、私達世代だけでなく、シニアの方も学びたい、作り方がわからないという方がおり、需要が若い世代だけで無いことがわかりました。現代の方も、忙しい方が多いので、一人でやるには腰が重たく、材料集めも大変なため、何人かで集まってわいわい楽しくやる（ワークショップ形式）が、継続のために必要なことだと感じました。毎年消費をして作り続けるものなので、常に需要があると考えています。

現在 Instagram での宣伝が多いですが、シニア世代の方は新聞広告などを見て、来ていらっしゃる方も多いので、宣伝方法にも工夫が必要そうです。しかしながら、あくまきの会は、長年の信頼と強い信用があった上で、応募が殺到していたので、「開催の人の人となり」がとても重要だと感じました。

